

地方都市行政調査 報告書

委員会	区民委員会		
調査年月日	平成28年10月26日(水)	調査場所	大阪府 吹田市
委員	委員長 うすい 浩一 副委員長 ぬかが 和子 副委員長 長 澤 興 祐 委員 いいくら 昭二 委員 新井 ひでお 委員 吉岡 茂 委員 土屋 のりこ		

調査項目	健診受診率の向上をはじめとする健康・医療のまちづくりについて
調査の目的	区民・地域のちから推進行政に関する先進事例を調査研究することによって、区民サービスの向上に資するため。
調査内容	<p>吹田市では、国立循環器病研究センターの吹田操車場跡地への移転決定を契機に、同地への市立吹田市民病院の移転や医療研究機関・医療関連企業等の誘致を進めるなど、平成30年度を目途に、国際級の複合医療産業拠点（医療クラスター）の形成を目指している。日本の医療費の多くを占め、重度の要介護状態に直結する循環器病に関する予防医療や健康づくりの取組みに加え、市民参加型の循環器病予防の取組みのモデルの創成など、様々な取組みを今後推進していくとしている。</p> <p>具体的には、国立循環器病研究センターによる予防医療の取組みとして、行政が地域医療を担う関係機関や市民等の協力も得ながら支援することに加え、大阪府や近隣自治体とも連携・協力し、より効果的な市民の健康増進に資する施策を検討している。また、市民参加型の循環器病予防の取組みについても、健康産業等の関連企業や民間活力を生かしたコミュニティ・ビジネスも含め、官民が一体となって、地域住民が予防・生きがいづくり・就労を兼ねて主体的に参加することのできる環境づくりや機運の醸成、並びに地域独自の関連施策についても現在、協議・検討を進めている。</p>
主な質疑	<p>（問）吹田市の医療費に占める循環器系疾患の割合は全国と比較して高いのか。</p> <p>（答）疾病別医療費比率はほぼ全国と同じ傾向にあり、循環器系疾患についても入院・外来とも差はない。</p> <p>（問）現在の吹田市における特定健診・特定保健指導の受診率はどうか。</p> <p>（答）特定健診受診率が47.2%、特定保健指導受診率は15.6%である。</p> <p>（問）受診率向上に向けた吹田市独自の施策はあるか。</p> <p>（答）特定健診・がん検診の受診や健康講座への参加等をポイント化し、一定ポイントに達した市民に特典として商品等を付与する健康ポイント事業がある。</p> <p>（問）市民参加型の循環器予防の取組みをどのように進めていくのか。</p> <p>（答）現在、北大阪健康医療都市における健康・医療のまちづくり加速化プランを策定中であり、その中で具体的方策の検討が進められている段階である。</p>
委員長所見・区政に活かせる点等	吹田市は、国立循環器病研究センターと吹田市民病院を中心とした「健康・医療のまち」へと大きく生まれ変わりつつある。「健康・医療」を中心としたコンセプトを住民・事業者・行政が共有し合い、相互に連携を深めることにより、相乗的なプラス効果が創出され、付加価値の向上するまちづくりは、吹田市の一層の発展を期待させるものであった。大学病院の移転を控える当区においても、吹田市の健康・医療のまちづくりの実現に向けた様々な取組みは大変参考となった。

地方都市行政調査 報告書

委員会	区民委員会		
調査年月日	平成28年10月27日(木)	調査場所	岐阜県 岐阜市
委員	委員長 うすい 浩 一 副委員長 ぬかが 和 子 副委員長 長 澤 興 祐 委員 いいくら 昭二 委員 新 井 ひでお 委員 吉 岡 茂 委員 土 屋 のりこ		

調査項目	岐阜市国民健康保険データヘルス計画について
調査の目的	区民・地域のちから推進行政に関する先進事例を調査研究することによって、区民サービスの向上に資するため。
調査内容	<p>近年、特定健診の実施や診療報酬明細書等の電子化の進展、国保データベースシステム等の整備により、医療保険者が健康や医療に関する情報を活用して、被保険者の健康課題の分析、保健事業の評価等を行うための基盤整備が進んでいる。今後は更なる被保険者の健康保持増進に向け、保有しているデータを活用して被保険者をリスク別に分けてターゲットを絞った保健事業の展開や、ポピュレーションアプローチから重症化予防まで網羅的に保健事業を進めていくことが求められている。それらを背景に、国は国民健康保険法に基づく保健事業の実施等に関する指針を改正し、保険者は健康・医療情報を活用し、PDCAサイクルに沿った効果的かつ効率的な保健事業の実施を図るための保健事業の実施計画「データヘルス計画」を策定した上で、保健事業の実施と評価を行うものとした。</p> <p>そこで、岐阜市は、全国の中でも先駆的に国民健康保険の現状をレセプト等や特定健診の状況等から分析し、課題を抽出し、これまでの保健事業を振り返り、PDCAサイクルに基づいた事業計画として、平成27年4月1日にデータヘルス計画を策定した。</p>
主な質疑	<p>(問) 70歳代の特定健診受診率が42.2%というのは低いと思うがどうか。</p> <p>(答) 電話での受診勧奨を行っているが、未受診高齢者の多くは病院治療中との理由で特定健診を受けないことが判明しており、その影響によるものが大きい。</p> <p>(問) 糖尿病が減少傾向とのことだが、岐阜市独自の糖尿病対策は何かあるか。</p> <p>(答) 独自施策ではないが、動こう・歩こう「歩けるまち」をコンセプトに、ウォーキング大会等の開催など、市民が体を動かす環境づくりに注力している。</p> <p>(問) 特定健診地域別の受診率に偏在があるが、こういった理由が考えられるか。</p> <p>(答) 北部は山間部で高齢者も多く受診率が高い。一方で、南部は名古屋に近く若年層が多いことから低く、中部は医療機関等が多く受診率が高い傾向にある。</p> <p>(問) より効果的かつ効率的な費用対効果を考慮した計画の具体的説明について。</p> <p>(答) 40歳の自己負担金無料化も100万円程度であったが、小規模・予算負担の少ない中でも最大限の効果が出るよう、今後も最善策を検討し進めていく。</p>
委員長所見・区政に活かせる点等	岐阜市のデータヘルス計画は、被保険者の健康度を高め、働き盛りの早死予防や高齢期の認知症予防、介護予防等、健康寿命の延伸・医療費の抑制に資するものである。現在、当区もデータヘルス計画の来年度策定に向け、様々協議・検討が進められているが、特定健診受診率・特定保健指導実施率の向上、並びに特定健診受診勧奨判定値割合の減少を軸とした岐阜市の計画と取組みは大変勉強になった。

地方都市行政調査 報告書

委員会	区民委員会		
調査年月日	平成28年10月28日(金)	調査場所	岐阜県 岐阜市
委員	委員長 うすい 浩一 副委員長 ぬかが 和子 副委員長 長 澤 興 祐 委員 いいくら 昭二 委員 吉岡 茂 委員 土屋 のりこ		

調査項目	みんなの森 ぎふメディアコスモスについて
調査の目的	区民・地域のちから推進行政に関する先進事例を調査研究することによって、区民サービスの向上に資するため。
調査内容	<p>以下の内容について施設の見学を行った。</p> <p>【施設概要】</p> <p>岐阜市は、中心市街地に位置する岐阜大学医学部等跡地において事業展開しているつかさのまち夢プロジェクトの第1期として、知の拠点の役割を担う岐阜市立中央図書館、絆の拠点となる市民活動交流センター及び文化の拠点となる展示ギャラリー等からなる複合施設『みんなの森 ぎふメディアコスモス』を、平成27年7月18日に開設した。</p> <p>みんなの森 ぎふメディアコスモスは、主に3つの施設から構成されている。</p> <p>1つ目は、情報を集め、人が集う『知の拠点』となる「市立中央図書館」である。岐阜の山々の稜線を思わせる形状の木造格子屋根から、それぞれのエリアをやさしく包み込むグローブが吊り下げられ、グローブを中心に渦を巻くように書棚が配置されている。蔵書数は最大90万冊まで所蔵可能であり、座席数も閲覧席・学習席のほか、グループ学習席やテラス席など様々な席が用意されており、約910席を誇る。また、ライブラリープログラムの充実の一環として、文学講座、講演会、セミナー、おはなし会や各種展示室企画などを多数企画しており、多目的ホールやスタジオなど設備の充実した会場で開催され、その他にもICを活用した自動貸出機や予約図書セルフ貸出システム等のICタグによる資料管理も行われている。</p> <p>2つ目は、人と人を結ぶ『絆の拠点』となる「市民活動交流センター」である。市民が交流できる場所を提供することで、一緒に活動できる友だちや仲間づくりを応援、まちを良くしたい・人の役に立てる活動をしたい人たちへの情報発信・提供、まちを良くするためにはどうしたら良いか、みんなで一緒に考える機会の創出など、岐阜市の市民活動を積極的に支援している。何でも相談できるカウンターに加え、大小4種類のスタジオは、最大100人収容可能な「かんがえるスタジオ」や一面鏡張りの「おどるスタジオ」など多種多様な使い方が可能である。</p> <p>3つ目は、発表し交流し合う『文化の拠点』として、展示や発表会、講演会やセレモニーなど多様な使い方ができる「みんなのホール」、「みんなのギャラリー」のほか、国際交流の場となる「多文化交流プラザ」である。多目的ホールは席数200席程度で文学ライブや講演会、市民文化活動の発表会など様々なイベントに利用できる。また、展示スペースとしては展示室に加え、エントランスホール、窓を開放して屋外ギャラリーと一体利用することも可能なオープンギャラリーがある。</p>